

議 長	局 長	次 長	係 長	係 長	課 員	担 当

第 1 回 議 会 改 革 推 進 会 議 会 議 記 録 簿

開 催 日	令和元年 9 月 9 日 (月)	場 所	特別会議室
開催時間	午後 1 時 29 分～午後 3 時 20 分	休憩時間	時 分～ 時 分 時 分～ 時 分
出席委員	全 員 ・ 欠 席 名 ()		
その他 出席者		事務局 出席者	夏井事務局長、水上恵一係長、 馬場徳之係長、大石美奈主査

(適用・要旨)

進行：座長 畑中勇吉議長

○協議案件

(1) 第 4 回 期 からの 申し送り 事項 と 議会 活動 チェック シート について

- ・冒頭、議長から前任期最後に取り組んだ議会基本条例の検証と次の任期への申し送り事項について説明があり、全員で再確認を行った。
- ・申し送り事項について具体的に検討するにあたり、第 5 回 期 議会 活動 実行 計画 を 策定 することとした。取り組まなければならない課題、新たに又は継続して取り組まなければならない事項について下記のとおり協議した。

① 情報共有

《 会議、審議資料の公開 》

- ・ライブ中継による会議の見せ方について

→カメラワーク、会場の座席配置の工夫・検討の必要性。

音声については改善され、市民からクレームが無くなったと認識している。

究極的には予算確保が必要となるが、なるべく予算がかからない方法を事務局で研究していく。(事務局)

《 各議員の活動状況の公開 》

- ・議会だよりで出欠状況公開など、情報をどこまで公開するかについて

→情報をどこまで公開するか対象を吟味し、基準をつくる必要がある。

基準については、次回 (R2. 5 月 1 日号) までに議会改革推進会議で検討する。

② 住民参加

《 広聴広報会議のあり方 》

- ・「議会報告会を年 1 回以上開催」の条文にこだわらない多様な報告の場の展開について

→基本条例第 8 条第 4 項を改正する。(会派共同提案へ)

→各種意見交換の場（かだって会議や常任委員会等による意見交換の場）で議会報告を併せて行う。報告内容については、意見交換会開催に併せて推進会議で検討する。

・「かだって×かだって」について

→議会だよりを住民に気軽に読んでもらうための特集企画記事。企画や取材内容の打ち合わせ、編集等の都合を考慮すると、所管を広聴広報会議から変更するのは難しい。全議員が参加できるよう、次回の「かだって×かだって」開催までに広聴広報会議で対応を検討する。（豊巻委員）

・議会モニター会議について

→議会運営に関する意見のスムーズな対応に向けて、所管を広聴広報会議から議会改革推進会議へ変更する。

・広聴広報会議の委員負担について（領域や量の増大）

→議会モニター会議と議会報告会の所掌が無くなることで、負担は軽減されるのではないか。組織はそのまま継続することで大丈夫ではないか。

・かだって会議について

→H28 から開催していない。これまでと同様議会改革推進会議が主体となり、年度内に開催できるよう取り組む。

・新たな住民との意見交換の場の検討

→まちなかの空き店舗やお休み処、土風館の多目的スペースなどの場所や、市日などの機会を利用して、意見交換の場、議会活動の展示など新たな取り組みができないか検討したい。

③ 議会の機能強化について

《委員会活動の活性化》

・予算・決算審議の充実について

→常任委員会化はともかく、どういう形であれ事前に勉強会をする必要がある。

（城内委員）

予算・決算常任委員会化に向けて、議会改革推進会議で先進議会のやり方を研究し、議論を深めたい。

・常任委員会における意見交換の場の設置について

→各常任委員会によるテーマ別意見交換を実施する。

《議員間討議の充実》

・議員間討議の内容について

→質の向上に向けて勉強する必要がある。講師を招聘し、全員で研修すべき。

《他の議会との交流・連携の推進》

・今後の交流内容や新たな相手先の検討について

→近いうちに機会をみて袖ヶ浦市議会へ伺い、今後の展開について話し合いたい。

（畑中議長、夏井局長）

当局が協定を結んでいるところの議会へも交流を検討したい。

④ その他

・議員報酬のあり方と政務活動の充実について

→前任期で取り組めなかった議員報酬について、政務活動費と併せて議論したい。

まずは方向性の検討を議会改革推進会議で行い、そこから特別委員会やあり方検討

会議などへ移行し具体的な検討を行うべき。

- ・今回出された項目については、一旦事務局で内容を整理し、計画表（シート）へ落とし込む。次回は9/25に開催し、シートの内容確認、取り組む優先順位・時期を決めることとする。
- ・第5回期実行計画については、9/27の本会議終了後に議員全員協議会を開催し、全体共有することとした。また、これまで取り組んできた議会活動チェックシートに繋げることとし、令和元年度分を年度末に評価・検証することとした。

(2) その他

- ・青森中央学院大学の佐藤淳先生から、10月18日（金）の総務課主催の研修に併せて議会でも研修いただける旨事務局が報告。10月17日（木）に議員全員協議会を開催し、佐藤先生から議会改革に関する講義と、住民対話に向けたワークショップの指導を受ける旨合意した。